

中学生は
入場無料!

ヨコハマトリエナーレ2017 島と星座とガラパゴス

会期 2017年8月4日(金) - 11月5日(日)

会場 横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜市開港記念会館地下ほか

休み 第2・第4木曜日 時間 10:00 - 18:00(最終入場 17:30)
※10/27-29、11/2-4の6日間は20:30まで(最終入場 20:00)

MAP & ACCESS

★ **横浜美術館**
みなとみらい線「みなとみらい駅」3番出口から徒歩3分
JR線および横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から〈動く歩道〉利用、徒歩10分

★ **横浜赤レンガ倉庫1号館**
みなとみらい線「馬車道駅」または「日本大通り駅」徒歩6分
JR線および横浜市営地下鉄線「関内駅」または「桜木町駅」徒歩15分

★ **横浜市開港記念会館**
みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩1分
JR線および横浜市営地下鉄線「関内駅」徒歩10分

【お問い合わせ】 ハローダイヤル 03-5777-8600(8:00-22:00) / www.yokohamatriennale.jp

【発行】 横浜トリエンナーレ組織委員会

220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内 / TEL:045-663-7232 / FAX:045-681-7606

【デザイン】 宮川洋平(bulwark) 【印刷】 野毛印刷社

中学生のための



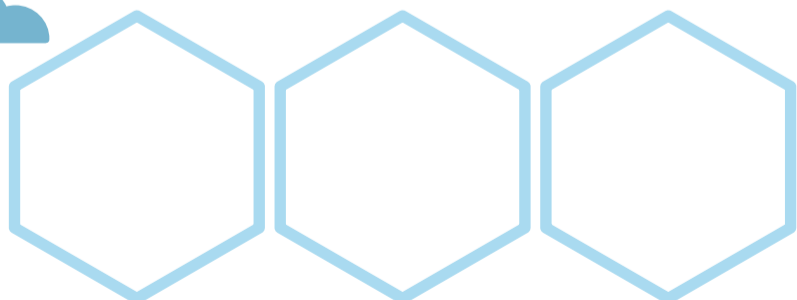
ヨコハマトリエナーレ2017 島と星座とガラパゴス



「ヨコハマトリエナーレ2017」開催!!

横浜トリエンナーレは、横浜で3年に一度おこなわれる現代アートの国際展のことです。今年も8月4日～11月5日に、「ヨコハマトリエナーレ2017」がおこなわれます！
今回は「島と星座とガラパゴス」というテーマで、横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜市開港記念会館で日本や外国のアーティスト(芸術家)たちの作品を集めて展示します。会場で作品と出会い、自分の目で見て、たくさんのことを発見してください。

3つの会場でスタンプしよう!



横浜美術館

横浜赤レンガ倉庫1号館

横浜市開港記念会館

「島と星座とガラパゴス」って何だろう?

みなみたいへいよう
南太平洋にうかぶガラパゴスの島々にはガラパゴスゾウガメやウミグアナのような独自の進化をとげた、ほかにはいない動物が生息しています。海の中にポツン、ポツンとある島は外の世界と隔たっている^{へだ}ので、それぞれの島には特別な世界があります。

私たちもひとりひとりが特別で、それぞれが違う^{ちが}考え方、違う感じ方をしています。でもそれは当たり前のこと、生まれた時から今日までみんなが違う道を歩いてきたのですから。大事なことはひとりひとりの違った考え方や感じ方を大切にすることです。

昔の人は、夜空に輝くひとつひとつの星をつなげて星座の物語をつくりました。その想像力^{かがや}ってすごいですね。みなさんの想像力で作品を星座のようにつなげて、横浜トリエンナーレから誰も知らなかった新しい物語を見つけ出してください。





ジョコ・アヴィアント 《大きな木々》 2015

★ ナゾの物体現る!? 美術館

建物の入口をおおっているものは何でしょうか？
何で作られているかわかりますか？

これは、竹を曲げたり、編んだりして作った大きな作品です。作者のジョコさんの故郷インドネシアでは、竹を使った家や、伝統工芸品が有名で、竹はとても身近な素材なんだそうです。たくさんの竹がからみつき、建物といっしょに今にも動き出しそうな迫力が感じられますね。

ジョコさんが横浜に滞在して、美術館内に新しい作品を作ってくれるよ！

★ カラフルなクマ!? 美術館

黄緑色と紫色のクマなんて見たことありますか!?
よく見ると、鳥の羽でおおわれています。
作者のパオラさんが住むアラスカでは、色々な種類のクマが生息していて、神聖な生物として神話などにも登場するそうです。しかし、自然破壊でクマの住む所や食べ物が減ったため、生きのびるのがとても大変。
パオラさんはクマをテーマにした作品を沢山作っています。自然の中に住んでいるはずのクマたちは、美術館で何をしているのでしょうか？

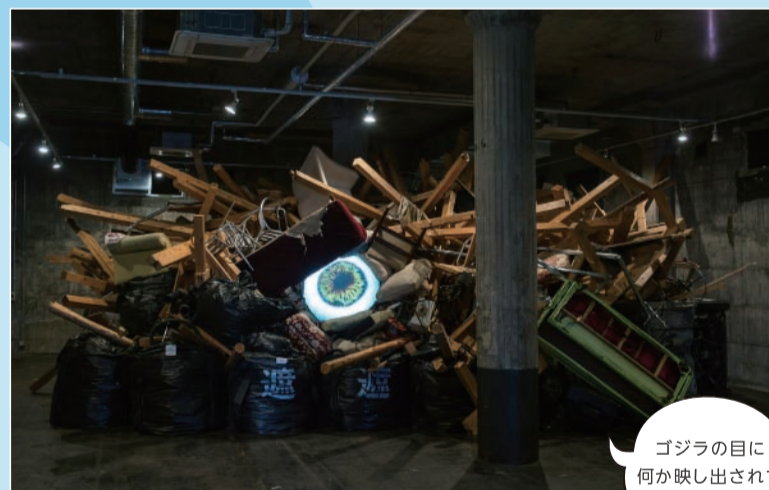
題名を訳すと「わたしとわたし」。どうしてこの題をつけたんだろう？



パオラ・ピヴィ 《I and I (芸術のために立ち上がらねば)》 2014
Photo:Guillaume Ziccarelli / Courtesy of the Artist & Perrotin

★ 大きな目はあの怪獣の目!? 開港記念会館

捨てられた材木や家具、電気製品などの間からのぞくギョロツとした大きな目。
作品の題名を訳すと「プロジェクト・ゴジラー目のある風景」ですが、これはあのゴジラの目でしょうか？
ゴジラは、太平洋で行われた核実験により誕生した怪獣です。人間が生み出して、最後には人間によって退治されてしまうゴジラと、人間の生活から生み出され、捨てられる大量のゴミ。このゴジラは、その大きな目で何を見ているのでしょうか？



柳幸典 《Project God-zilla - Landscape with an Eye -》 2016
Photo by Tatsuhiko NAKAGAWA

ゴジラの目に何か映し出されているよ！

TOPICS

🔍 亀蔵をさがせ! 美術館

古めかしい写真に写る、この人は「亀蔵さん」。今から160年以上も昔、まだ日本が外国と貿易をほとんどしていなかった江戸時代の終わり。乗っていた船が嵐にあい、漂流してしまった亀蔵さんは、アメリカの船に助けられ、アメリカに長い間とどまることになってしまいました。まだ写真が発明されて間もない時代、アメリカでとられたのがこの写真です。亀蔵さんは、写真にとられた最初の日本人の一人だと言われています。あれ？この写真はちょっと不思議！鏡のような銀の板に写し出されているんですよ。

ハーヴェイ・R・マークス 《栄丸丸船員 亀蔵 (COMMETHO)》 1850-51年 (嘉永3-4年) 横浜美術館蔵



とても小さい写真だよ。どこにあるか見つけてね！

ヨコハマトリエンナーレ2017で体験してほしいこと

- 1 会場に行って、本物に会おう**
ものすごく大きかったり小さかったり、近づいてみるとデコボコだったり、ザラザラだったり。作品の数もたくさんあります。写真ではわからない作品のパワーを感じてみましょう。
- 2 よく、見てみよう**
一見ヘンテコに見える作品にも、作者の考えや思いがこめられています。社会の問題かもしれないし、あるいは個人的なことかもしれません。ちょっと立ち止まって想像してみてくださいね。

- 3 わからなくてもいい 急がばまわれ**
会場ではナゾはナゾのままでも、わからない事もふくめて楽しみましょう。考えたり、本を読んだり、だれかと話しているうちに「ナルホド!」と気づくかもしれません。
- 4 一人でみる? 誰かとみる?**
思いをめぐらせながら一人で見るのもすてきだけど、他の人とお話を別々の見方を知れば、また新しい発見が増えていきます。

会場で大事にしたいマナー

- 作品にはさわらない
作品はとてもデリケート。額やケース、壁にもさわらないで。
- 会場では走らない
作品や他の人にぶつからないように、会場ではゆっくり歩こう。
- 大きな声に注意しよう
一人で静かに鑑賞したい人もいます。お話する時は小さい声で。
- メモは、えんぴつで
ボールペンや、シャープペンシルは使えません。貸出用のえんぴつがあります。

